



全教北九州

新聞 全教北九州
全教北九州市教職員組合
2024年5月27日

全教北九州

検索

中教審「まとめ」・春闘交渉・定期大会 特集

この新聞はすべての教職員に配布しています

中教審「まとめ」では長時間労働と教職員未配置は解決しない

業務に見合った教職員の増員と業務量の削減こそ必要

中教審「審議のまとめ」

全国の学校現場から「このままでは学校がもたない」という深刻な危機感が訴えられ、長時間過密労働と教職員未配置の解消のための施策を提言することが中教審の中心課題でした。しかし、「まとめ」は教育予算の大幅増額を必要とする施策を求めていません。これでは、長時間労働と教職員未配置は解消しません。「まとめ」はわたしたちの願いに答えていません。

教員の志望者減少・採用倍率低下、早期退職の増加、病休者の高止まりなど、多くの問題が全国的に広がっています。

5月13日、中教審・質の高い教師の確保特別部会は答申に先立ち「審議のまとめ」を発表しました。「まとめ」が求める施策は本言に「改善」につながるのでしょうか？

中教審「審議のまとめ」の問題点
①教職調整額4%を10%以上に引き上げ。

現在の勤務時間外の労働時間から見ると、10%にしてもまったく割に合いません。「引き上げたから今まで通り勤務時間外も働け。」ということになりかねません。

②担任手当の創設
「担任の業務は大変だからそれに見合った手当を」という趣旨は妥当とも思えます。しかし、「手当を支給するから自分のクラスに責任を持たせ。」という体制づくりの理由となったら、今よりも担任は大変なことになります。

③管理職手当を増額
手当が増額すれば管理職志願者が増えるのでしょうか。業務も責任も増えている管理職の「働き方改

革」をすすめることが必要ではないでしょうか。

④小学校教科担任制を中学年から適用
持ち時間数がほぼ30時間、トイレにも行けない小学校教員が多数います。小学校教員の持ち時間数を減らすことは必要です。問題は、そのための配置ができるか、連絡や調整のための時間を生み出せるかです。小学校での教科担任制についてはまだ議論が必要です。

⑤小中学校の授業時間を5分短縮
教える内容が軽減されないと、授業についていけない子どもたちが今より増える可能性があります。さらに、「余った時間を学校裁量に」ということが趣旨となつていきます。その時間に「何をするかを教員が新たに考えなくては行けない。」と負担がむしろ増やされることとなります。

⑥教員採用試験の前倒し実施
今年度は6月、来年度は5月実施とも言われています。現行のスケジュールでは、新卒者が民間に流れるのを防ぐという理由です。しかし、臨時教員にとつては、ただでさえ忙しい年度当初に

試験の準備が必要となつてしまいます。教職志願者を増やすためには、「教職にやりがいを感じる」「教職の働き方に不安がない」「待遇が良い」「職業とすることが必要です。」「教諭の上に新たに「主任教諭」を創設

その目的は、「若手教師へのサポート」「子どもの抱える課題や学校横断的な取組への対応」とされています。しかし、試験を実施したり人事評価を用いたりすることで教員に対する管理を強化し、財源まで一般教員の給与の引き下げになるのではという不安があります。

必要な施策は何か
「まとめ」では、長時間過密労働解消と教職員未配置をはじめとする問題は解消できません。一番求められるのは、「教育予算を増やし、人を増やし、仕事を減らす」ことではないでしょうか。



組合がなかったら、どうなるの？
問題や悩みは自分で解決するか、我慢するしかありません。願いや要求はなかなか実現しません

一人では途方に暮れてしまうことも、みんなが集まれば大きな力になります。一人の小さな声はなかなか届きませんが、みんなで声をあげれば、世論になります。私たちは、そうやって問題を解決し、様々な要求や願いを実現してきました。組合に入って、一緒に解決、実現していきませんか。

だからあなたも組合へ

北九州の戦争遺跡

小倉造兵廠③ (小倉北区)

廠内には充実した福利施設が備わっていました。

■診療所

内科・小児科・外科・耳鼻咽喉科・皮膚花柳病(性病)科・物理科・歯科を開設し、軍医3名以下20人の軍人軍属を擁し50床の規模がありました。また市内に19人の嘱託医がいました。これらは職員とその家族が利用できました。

■小倉工廠青年学校

小学校卒業で採用された工員を対象に、修身(道徳)・公民・国語・数学・体育・軍事教練・工業等を17時から2時間実施していました。また技術教育の一部は県立小倉工業学校(現・小倉工業高校)に委託していました。

■レクレーション

篠崎に運動場があり剣道・弓道・銃剣道・野球・テニス・サッカー・バレーボール等の用具貸出がありました。従業員集会所では会合・宴会の他、囲碁・将棋・麻雀・ビリヤードができました。また春と秋に慰安会と称し遠足等がありました。

つながりが職場を変える大きな力

5月18日 全教北九州市教職員組合 第17回定期大会

5月18日(土)全教北九州市教職員組合第17回定期大会を開催しました。参加者からは、「働き方改革」のとりくみや教科担任制の導入が職場に混乱を与えている問題、職場での頑張りの、市民運動との協働などが語られました。発言の一部をします。

事務職員にも「働き方改革」

事務職員が職場で孤立している。事務職員に声をかけてほしい。補助員未配置はすすんでおり現在75校程度に増えている。教員の業務改善の声は聞かれるが事務職員にも業務改善が必要。また待遇改善と併せて人事異動の問題にも取り組みたい。

教科担任制の弊害

教科担任制本格実施一年目の職場で担任制の学級経営上の弊害を感じる。中学から異動した体育専科教員が担任になり体育以外の授業ができないためカリキュラム調整が難しく時間割が成立しない。業務が多くなり4月上旬で在校40時間を突破した行事との兼ね合いで持ち時間の減少がゆとりに繋がらない。校務支援システムの稼働時間と在校時間が連動するためパソコンなしでの残業を強いられる。

評価制度への疑問と管理職への圧力

特別支援教育で評価制度の問題を感じる。増加の一途をたど

る特別支援学校は大規模化している。職員は100人以上おり公正な評価ができるのか疑問である。1ヶ月以上にわたる面談は管理職の負担になっているのではないか。また出張が多く、不在がちな管理職に評価できるのか。管理職個人の好みで評価に反映していると感じている。

評価のために何かをしなければという強迫観念が管理職にあるように、管理職の取り組みが学校を混乱に陥れている。マニュアルが教育を委縮させる。マニュアル通りに授業をする。子どもを見ることができない。マニュアルがあっても小学校英語教育は難しい。自分が楽しいと感じる授業ができない。マニュアルに縛られて教えることの楽しさを感じる若者がいないのではないと感じる。「せんせいの学校」では学ぶためのしき、教える楽しさを感じる場を提供してほしい。

給食無償化のとりくみ

昨年からの給食無償化をめざす取り組みがはじまった。昨年の

「共育集会」で「隠れた教育費」をテーマにしたことがきっかけで「学校給食の無償化をめざす会」が発足した。次回市議選(2025年1月頃予定)の大きな争点となるように署名5万筆に取り組んでいる。今後、市議予定候補に質問状を送付する、懇談もしたい。現在、職場からの署名が少ないので職場での取り組みを展開してほしい。

討論のまとめ、いろいろな場面で組合の姿をみせよう

教科担任制は現状では小学校にはそぐわないと感じた。職場では逆方向の業務改善が進んでいる。評価制度への疑問も出された。問題は公平性の確保に尽きるところだが、賃金に差をつけられることが士気向上に繋がるのか疑問。異動問題は取り組みを強めたい。私たちは教育と職場の現状にもっと怒ってもよいと思う。しかしその思いは冷静に教育委員会に伝えたい。給食無償化は子育て中の教職員の反応はよいと感じた。様々な署名があるが、署名活動は組合の姿を見せる機会になると思うので取り組んでほしい。

過酷な教育現場を変えていこう

5月1日「第95回北九州統一メーデー」

5月1日「第95回北九州統一メーデー」が開催されました。全教北九州は、子どもにも教職員にも過酷な教育現場の状況を報告し、今すぐに教員の処遇を改善し、教員を増やし、少人数学級を拡大し、必要な時には安心して休むことができる職場に変えること、このことが、子どもたちと教職員の心の豊かさにつながることを訴えました。



「ずっと北九州で働いてよかった」と言える職場づくりのために

5月17日 春闘要求書にもとづく交渉

5月17日、全教北九州市教職員組合は、春闘交渉を行いました。

全教北九州は第一に、「民間春闘の賃上げの流れを受け、安心して働くことができる、大幅な賃上げ」を要求しました。物価高の直撃する弱者、学校現場では非正規の処遇改善を期末・勤労手当の支給要件週当たり15.5時間以上問題、上問題、常勤講師の2級適用について、先進都道府県・政令指定都市の実

例をふまえ要求しました。賃上げ以外に、暫定再任用教職員の賃金改善、今年から実施される評価の賃金リンクは教育現場になじまない、事務補助刺がしを元に戻す、事務職員の教育委員会への割愛問題、長時間過密労働の改善・解消のための具体策を、子育て支援休暇を権限移譲前の中学校卒業まで・特別支援学校高等部までの足伸ばしを、兼務発令の廃止、新市長の予算削減反対等1時間と限られた時間をしたが、多岐にわたる現場の声を届けました。

「ずっと北九州で働いてよかった。」と言える賃金、労働条件になるようにこれからも現場の声を届け続けます。と執行委員長のまよの発言に、教育委員会教職員部長もまったく同感と答えました。

教職員の仕事と暮らしをサポート!

募集中

新規加入

募集期間 6月30日まで

- 総合共済
- 医療共済
- 生命共済
- 傷害共済
- おうちの共済

全教共済



詳しくは Webへ

